

番号	氏名	抱負
031	市田 隆雄	このたび代議員に立候補致します。今日の私達はメディカルスタッフと称される時代となり、チーム医療の名のもと最適な放射線技術の提供がいつそう求められることとなっています。そのためには国際化や高度性のみならず、初学者の皆様まで広く魅力溢れる学術活動の提供が重要と理解致します。若い方々の活躍を第一番に考えて、精一杯に尽力したく存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
032	井手口 忠光	放射線技師教育は4年制が定着し、大学院に進む学生も増え学術のレベルも急速に上がってきています。ただ、放射線技師全体から眺めれば、いまだその割合は少なく、裾野の広がりは偏っている感じも致します。そこで私の抱負は、いまだ横浜JRCにも参加したことがないけれども、潜在的な能力を持つ多くの放射線技師を発掘することです。そしてその潜在的な能力が発揮できるような仕組みをもつ学会にしていきたいと思えます。
033	伊藤 光代	女性は結婚や出産、育児などライフスタイルやライフステージによって、仕事や学会へのかかわり方が大きく変化します。このような中、やむなく学術活動から遠ざかる女性技師も少なくありませんが、継続して学術活動をする多くの女性会員もいます。活動をする女性会員のモチベーションが途絶える事がないよう、結婚・出産・育児を経験した視点から彼女らを応援し、学会の活性化につなげたいと思ひ、代議員に立候補いたします。
034	井ノ上 信一	このたび代議員に立候補させていただきました大阪大学医学部附属病院の井ノ上信一と申します。私は診断部門で14年そして現在治療部門に約10年従事しております。診断や治療の垣根を越えて放射線技術学の発展ひいては放射線技術学会の未来に少しでも力になればと考えています。みなさまどうぞよろしく願ひいたします。
035	井上 健	私は民間病院で10年勤務し、現在は大学病院で診療、研究そして教育に従事しています。主にX線CT技術関係の研究会の幹事を務めています。また、大学院では社会人学生として学術研究を通して自己研鑽に努めています。これらの活動経験を学会運営に反映させ、放射線技術学の発展のため微力ではありますが協力させていただきます。
036	今花 仁人	私はこれまで、関東支部DR研究会の幹事として会務に協力させていただきました。研究会活動を行っていくうえで本会、部会と協力し地方支部でさらに多くの魅力的な事業を開催していく必要性を強く感じました。代議員として、技術学会の発展、部会の活性化、放射線技術の向上のために寄与してゆきたい所存です。
037	岩井 譜憲	私はこれまで技術学会開催の講演やセミナーで学ばせていただき成長する事が出来ました。これまで学んだことを活かして、放射線技術学の発展と後進の育成に貢献したいと思ひます。特に専門としている放射線治療領域で貢献できればと思ひます。
038	岩田 真	「主な活動歴」平成20年度 第62回東京部会春期学術大会実行委員長、平成22年度 第64回東京部会春期学術大会大会長、平成21年度から4期8年 東京支部理事 「立候補の理由・抱負」日本放射線技術学会および東京支部の組織拡大・改革・さらなる発展に向けて尽力する所存です。特に慈恵医大4機関を取り纏め、積極的な研究発表と国際化推進に向けてサポートして参ります。
039	岩永 秀幸	私は、中国・四国支部の理事をさせて頂いています。本年度の総会学術大会に参加して英語発表の比率が40%になり、2年前を振り返ると着実に国際化が進んでいることが証明されていると感じています。今後も多くの会員の方々が英語というハードルを乗り越えていけるように支部の活動を始め、本部の活動を支援していきたいと考えています。
040	上田 克彦	私は現在、広報・渉外委員長としてJSRTの活躍をより社会に広めることと、他団体との協力体制をより強めることを目的として活動しております。また、第45回秋季学術大会長として平成29年広島での学術大会では、議論を大切にしたい大会を目指しています。同時開催となる第3回ICRSTでは英語発表、講演を企画し特に若い会員の皆様に国際会議を体験していただくため準備をしております。どうぞよろしく願ひいたします。